学校番号	３０１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	「世界史 B」　（山川出版）						
副教材等	世界史図説　タペストリー　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・重要語句の暗記で終わることなく、各事象の因果関係についても理解することが大切です。
・資料集を活用する習慣をつけてください。地図、年表で空間、時間のつながりを把握することが
入試対策においても重要となります。

2　学習の到達目標

・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・諸資料に親しみ歴史的思考力を培う。
・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責務を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
一学期		導入:世界史への扉		○	○		a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:基本的事柄を各地域の生活・宗教などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
	諸地域世界の形成	①西アジア世界・地中海世界	○			○		
		②南アジア世界・東南アジア世界	○		○			
		③東アジア世界			○	○		
		④中央ユーラシア世界と東アジア世界		○	○			
		⑤アフリカ世界と南北アメリカ世界	○		○			
二学期	諸地域世界の交流	①イスラームの広がりと西アジア世界の展開	○		○	○	a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c：必要な諸資料を適切に活用している。 d:基本的事柄を、イスラーム世界やモンゴルが与えた影響などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
		②ヨーロッパ世界の形成と展開		○		○		
		③中央ユーラシア世界と諸地域の交流・再編	○	○	○			
	一体化に向かう世界	①近世ヨーロッパと大航海時代	○		○	○	a：高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:基本的事柄を各時代の諸地域の動向と関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
		②アジア諸地域の帝国と第 2 次大交易時代	○	○	○			
		③環大西洋革命とパクス＝ブリタニカ	○		○	○		
		④近世ヨーロッパ・アメリカの国民国家		○	○	○		
三学期	地球世界の到来	①地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	○		○	○	a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:資料を活用したうえで適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:基本的事柄を、地球規模での一体化などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
		②二つの世界大戦		○	○	○		
		③冷戦から多極的国際社会へ			○	○		
		④グローバリゼーションと地球環境の危機	○	○	○			

※表中の観点について a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。